# 使用製品

歯 - ベニア - コンポジット - Variolink Esthetic - ExciTE F

☐ **バリオリンク エステティック**
審美性を重視した、光重合型とデュアルキュア型の2種類を備えた接着性レジンセメントです。

☐ **プロキシット F フリー**
フッ化物無配合のクリーニングペーストです。

☐ **オプトラスティック**
接着性チップを持つ補助インスツルメント。修復物の保持に使用します。

☐ **モノボンドプラス**
どの修復物表面にも使用できるユニバーサルタイプのプライマーです。

☐ **オプトラダム**
治療部位を防湿するための3Dラバーダムです。

☐ **トータルエッチ**
37%リン酸エッチング材です。流れにくいジェルで、塗布した箇所にしっかり留まります。

☐ **エキサイト F**
エキサイト Fは、光重合型、1液性、トータルエッチタイプのボンディング材で、フッ素徐放性があります。

☐ **リキッドストリップ**
硬化時、酸素と触れることで形成されるコンポジットレジンの未重合層を抑制するためのグリセリンゲルです。

☐ **オプトラポル**
コンポジットレジン材料を仕上げ研磨する、1ステップの研磨バーです。

☐ **Fluor Protector（日本未導入）**

Fluor Protector（日本未導入） is a protective fluoride varnish for desensitization and caries prophylaxis.

# フローチャート Variolink Esthetic

歯 - ベニア - コンポジット - Variolink Esthetic - ExciTE F

## 1 テンポラリーの除去

仮封材を除去します。必要に応じて、支台歯に残存した仮封材をポリッシングブラシとフッ化物およびオイルフリーのクリーニングペーストを使用して除去します(**プロキシット F フリー等**)。その後、支台歯を水分およびオイルフリーのエアーで乾燥します。

## 2 修復物の試適

最終修復物を試適します。この段階で、シェード、修復物の適合、咬合状態を確認します。

修復物の確認のために、**バリオリンク エステティック Try-In** を使用します。試適後、修復物を水洗し、水分およびオイルフリーのエアーで乾燥します。

## 3 修復物の前処理

修復物の材料メーカーの指示に従いブラスティングを行います（**SR ネクスコ**の場合:2気圧、酸化アルミナ 100 ）。または、ダイヤモンドバーを使用して修復物の接着面を粗造にします。

**モノボンドプラス**を、ブラシあるいはマイクロブラシで塗布し、60秒反応させます。その後、強圧のエアーで乾燥します。

## 4 支台歯の防湿と清掃

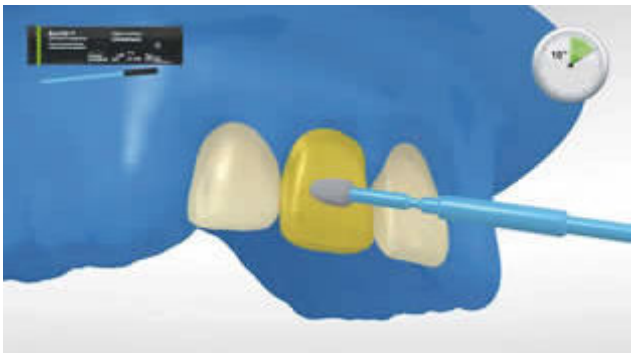
治療部位の防湿をオプトラダムで行うか、防湿用パッドや排唾管を使用して確実に行います。

支台歯をポリッシングブラシと、フッ素およびオイルフリーのクリーニングペーストでクリーニングし (e.g. **プロキシット F フリー**)、水洗します。その後、水分およびオイルフリーのエアーで乾燥します。この時、乾燥しすぎないように注意してください。

## 5 支台歯の前処理とボンディング材の塗布

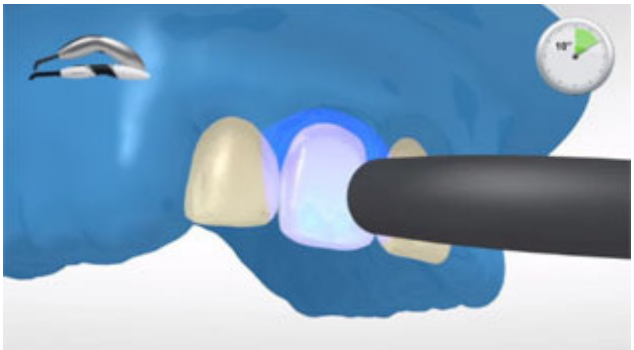
**トータルエッチ** （37% リン酸エッチング材）をはじめに形成したエナメル質に塗布し、その後象牙質があれば象牙質に塗布します。支台歯の隅までブラシ等を使用し均一に塗布し、エナメル質は15～30秒、象牙質は10～15秒反応させます。

その後、少なくとも5秒間、十分に水洗し、エッチングされたエナメル質が白く確認できるまで強いエアーで乾燥します。



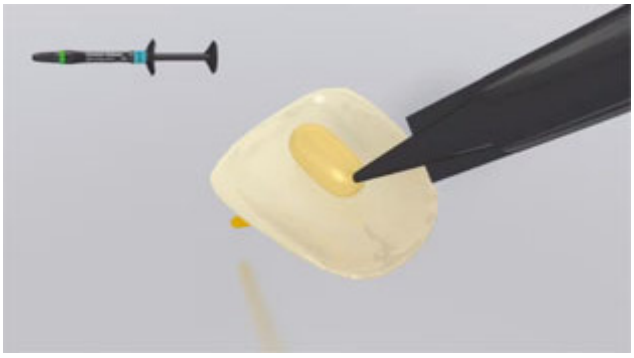
次に、**エキサイト F**をエナメル質と象牙質に少なくとも10秒間優しくスクラブしながら塗布し、厚い層を形成します。

余剰**エキサイト F**は、薄い層を形成するため弱圧でエアーブローします。この時、液だまりに注意してください。接着界面全体に光沢が見られれば、完全に封鎖されています。



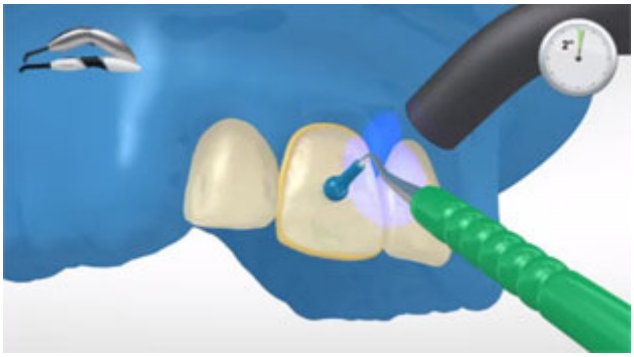
**エキサイト F**は、500 mW/cm2以上の光量で10秒間光照射します。 (**ブルーフェーズ Style**等)

## 6 バリオリンク エステティックによる修復物装着

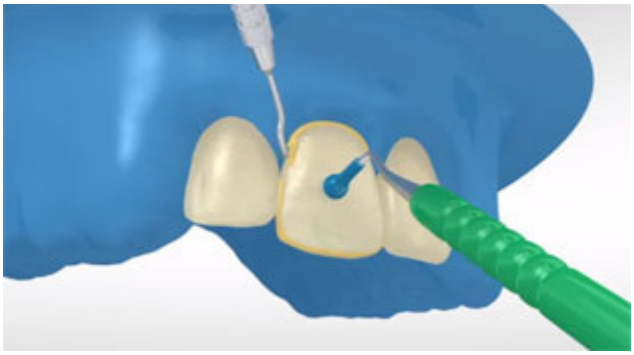


**バリオリンク エステティック LC**をチップ、あるいはブラシ/スパチュラで修復物の接着面に直接塗布します。

修復物を装着し、硬化まで軽い一定の圧力で圧接します。

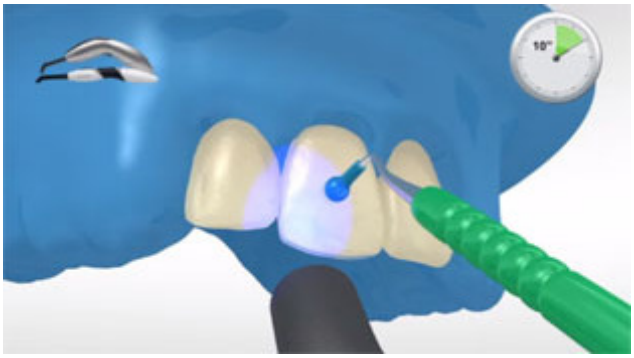


余剰セメントを光照射器（光量 ≥ 500mW/cm²;**ブルーフェーズ Style** 等）で (2秒間)10～15 mmの距離から、セメントラインに沿って光照射します。



ゲル状に半硬化した余剰セメントはスケーラー等で簡単に除去できます。

他のコンポジットレジン同様に、**バリオリンク エステティック** は、酸素による未重合層が生じます。この問題を避けるため、修復物のマージン部分を余剰セメント除去後すぐに、グリセリンゲル/エアバリア材（**リキッドストリップ** 等)で覆います。




少なくとも光量1,000 mW/cm2の光照射器を使用し、コンポジットレジンの厚み1mmに対し10秒、それぞれの面から照射します。（**ブルーフェーズ style**等）

**リキッドストリップ**を水洗し、ラバーダムを除去します。

## 7 仕上げ

隣接面は、研磨用ストリップスを使用し、仕上げ研磨を行います。咬頭嵌合位および機能運動時の咬合関係を確認し、必要があれば調整します。マージン部は、研磨バーもしくはディスクを用い研磨します (**オプトラポル**等)。

## 8 フッ化物塗布

A thin film of **Fluor Protector（日本未導入）** is applied with a Vivabrush or brush and distributed evenly. The varnish is dried with an air syringe.